

志賀農業協同組合（石川県羽咋郡志賀町）

組織の概要

- 令和4年3月末日現在の正組合員数は3,483名、准組合員は1,917名
- 農業従事者の減少や高齢化に伴う生産力低下などに鑑み、農業を生業とした持続可能な地域農業の実現を目指し、有益な施策活用提案やサポートなど、農業経営への貢献に努めている。また、集落営農組織等の担い手への農地集積を図るとともに、生産調整に向けた作業労力の分散と収益向上を目的に、麦の栽培に取り組んでいる。



生産概要（本事業の取組地域）

- 【R3年 作付面積】
水稲 1,013ha、大麦 42ha、小麦 2ha、そば37ha
- J A 管内（旧志賀町）では現在10農家に取り組んでいる。
米価の下落、また、コロナ禍の影響による米余りにより、更なる生産調整が求められており、収益性の高い麦の生産拡大を推奨していく。
- 小麦は契約栽培で、必要数量を生産している。

取組のポイント

<団地化による生産性向上の取組>

- 圃場の団地化を推進し、機械作業の効率化や栽培条件のバラつきを少なくすることで、労働時間の短縮と品質・収量UPなど生産性向上を図る。

<生産における課題と取組>

- 大麦の生産拡大を図っていく上で、コンバインのコスト削減が課題となっており、生産農家の共同利用を目的としたコンバインを導入することで、コスト軽減だけでなく、収穫適期に応じた刈取り作業の実施で品質向上を図る。
- 湿田地帯であるため、天候による収量変化は免れないが、栽培現地研修会の実施により、排水対策や追肥などの栽培技術を定着させる。



取組成果

<麦の生産拡大>

生産圃場の団地化、作業の効率化や栽培管理環境の条件整備により、生産面積の拡大を図る。

- 団地化率の向上
42.8% (R3) → 43.3% (R4) → 58% (R7目標)
- 作付面積
44ha (R3) → 44ha (R4) → 50ha (R7目標)
- 単収の向上 151kg (R3) → 270kg (R4)

